

1.飼養および保管の状況

(1) 動物種

令和6年度に飼養保管または使用された動物種は以下の9種です。

マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ、マカクザル（カニクイザル）、
マーモセット、ブタ

(2) 動物数

令和6年度の年間購入動物数および特定日あたりの飼養動物数は下記のとおりです。

実験動物の種類	年間購入動物総数	特定日1日当たりの飼育頭数
マウス：普通動物	4,300	1,431
マウス：遺伝子改変動物	-	5,611
ラット：普通動物	769	102
ラット：遺伝子改変動物	-	79
ハムスター	24	40
モルモット	7	27
ウサギ	10	6
マカクザル（カニクイザル）	0	8
マーモセット	0	42
ブタ	33	0

(3) 飼養保管施設の情報

主要な飼養保管施設の名称	飼育室等の数
動物実験施設	55
サイクロトロン棟	1

(合計：56)

2.動物実験委員会および教育訓練に関する事項

(1)実験計画書の年間承認件数

新規に承認された計画書は94件です。

(2)教育訓練の実績、実施内容の概略

回	実施日	参加者数	備考
1	令和6年4月1日	6	
2	4月15日	5	
3	5月1日	5	
4	5月13日	1	外国人対象英語講習
5	6月20日	3	
6	8月1日	4	
7	9月2日	7	
8	10月1日	1	
9	10月8日	1	外国人対象英語講習
10	10月15日	3	外国人対象英語講習
11	10月21日	1	
12	10月25日	1	外国人対象英語講習
13	10月29日	99	基礎配属学生
14	11月1日	3	
15	11月13日	2	
16	12月2日	1	
17	令和7年1月10日	1	
18	3月4日	8	

(合計：152名)

(R5年度は156名)

実施内容の概略

- 講師：高林 秀次(動物実験委員会)
- 開講時間：午前10時から午前12時まで(2時間)
- 講義内容：
 - 1) 動物愛護法
 - 2) 実験動物の飼養保管ならびに苦痛の軽減基準(環境省)
 - 3) 動物実験基本指針(文部科学省)
 - 4) 浜松医科大学動物実験規程
 - 5) 施設・設備の使用上の注意等
 - 6) 動物実験計画書等の説明ならびに書類作成の注意事項
 - 7) その他の関係資料

(3) 動物実験委員会

本学動物実験規程第6条に基づく役割	人数	備考
部長	1	委員長
副部長	1	副委員長
動物実験に関して優れた識見を有する者	3	
実験動物に関して優れた識見を有する者	2	
その他学識経験を有する者	1	
学外の有識者	1	
飼育技術者	1	
その他委員会が必要と認めた者	0	